

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	病理学 1（総論）	
科目基礎情報					
開設学科	柔道整復科	コース名		開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	15時間
単位数	1単位	授業形態	講義		
教科書/教材	教科書（病理学 一般社団法人 全国柔道整復学校協会 監修一）に準拠する。				
担当教員情報					
担当教員	岡本 純佳		実務経験の有無・職種	有・医師	
学習目的					
病理学とは、健康状態から逸脱し、身体的または精神的に機能が障害され、異常となった状態である疾病の原因、経過、他の疾病との鑑別、治療効果などについて、細胞、組織、臓器などの形態の変化を主な観察材料として研究する学問である。この科目では、人体の機能の理解に取り組み、人体を構成する要素を分解してその個々の機能を追求し、さらにその機能がどのようなしくみ（機能）で発現していくかを理解できるようになるのがねらいである。					
到達目標					
健康状態から逸脱し、身体的または精神的に機能が障害され、異常となった状態である疾病の原因、経過、本態、他の疾病との鑑別する能力を身につけるために、生まれながらの疾病で、多くは異常の発生が出生前にある先天性と生後発生する疾病であり、内因、素因と比較して、外因の影響が大きい後天性に分けられる疾病の分類や経過などを理解すること、細胞、組織、臓器が種々の障害により機能の失調や形態の変化をきたし、縮小し、場合によっては死へと進む病変である細胞障害（退行性変化、代謝障害）を理解することを到達目標とする。					
教育方法等					
授業概要	病理学とは、疾病の原因、経過、本態、他の疾病との鑑別、治療効果などについて、細胞、組織、臓器などの形態の変化を主な観察材料として研究する学問である。授業形態は座学中心で病理学1では病理学の基礎を中心に疾病の一般と細胞障害の基本的機能を重点において学ぶ。				
注意点	キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	100%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 （口頭・実技）	0%			
	平常点	0%			
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	病理学とは（ガイダンス）		病理学では何を勉強してしていくのかを理解する。		
2回	疾病の一般		健康と疾病の違いやどのような疾病があり、一般的な疾病の経過について理解する。		
3回	細胞障害(1)		細胞障害の定義を理解する。		
4回	細胞障害(2)		細胞障害の萎縮について理解する。		
5回	細胞障害(3)		細胞障害の変性について理解する。		
6回	細胞障害(4)		代謝障害と疾病（尿酸代謝異常やカルシウム代謝異常）について理解する。		
7回	細胞障害(5)		代謝障害と疾病（色素代謝異常や鉄代謝異常）について理解する。		
8回	振り返り(1)		1回～7回までの振り返り		
9回	細胞障害(6)		代謝障害と疾病（黄疸）について理解する。		
10回	細胞障害(7)		代謝障害と疾病（糖尿病）について理解する。		
11回	細胞障害(8)		退行性病変である老化について理解する。		
12回	細胞障害(9)		細胞組織の死について理解する。		
13回	細胞障害(10)		細胞組織の転帰やアポトーシスについて理解する。		
14回	細胞障害(11)		死の定義・判定・変化について理解する。		
15回	振り返り(2)		9回～14回までの振り返り		